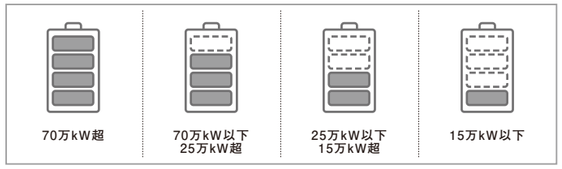
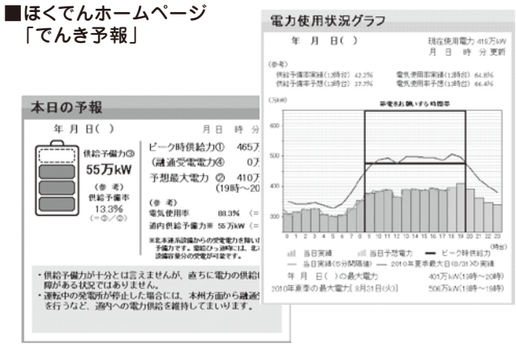
「でんき予報」のご案内

ほくでんホームページの「でんき予報」では、ピーク時供給力や予想最大電力等の需給状況をお知らせしています。節電にご協力いただく際の参考として、ご活用ください。（翌日予報は毎日18時頃、当日予報は7時頃に公表しております。）

■でんき予報（供給予備力）の凡例



■ほくでんホームページ
「でんき予報」



ほくでんからの「需給ひっ迫のお知らせメール」について

11月8日（金）受付開始予定

発電設備の計画外停止が重なるなど、万が一電力の需給状況が非常に厳しい見通し（供給予備率が3%を下回る）となった場合、緊急の節電をお願いするため、あらかじめご登録いただいたメールアドレスに、ほくでんから「需給ひっ迫のお知らせメール」を配信いたします。是非ご登録をお願いいたします。

前日の18時頃
翌日の供給予備率が3%を下回ると見込まれる場合にお知らせ。

当日の8時頃
当日の供給予備率が3%を下回ると見込まれる場合にお知らせ。

※上記以外においても、需給状況に関するお知らせを配信することがあります。なお、早朝・深夜の時間帯については、配信しないことがあります。

昨冬にご登録いただいたお客さまにつきましても、お手数ですが再度ご登録をお願いいたします。

携帯電話から
右のQRコードまたはhttp://www.hepco.co.jp/m/shortage_info/からアクセス願います。

パソコン・スマートフォンから
http://www.hepco.co.jp/shortage_info/
ほくでん　需給ひっ迫のお知らせ　検索

節電に関するお問い合わせ

■お電話によるお問い合わせ

旭川支店 お客さまセンター　(0166)23-1121
稚内営業所 お客さまセンター (0162)23-4001
浜頓別営業所 お客さまセンター (01634)2-2008
名寄営業所 お客さまセンター (01654)3-2131
留萌営業所 お客さまセンター (0164)42-1390
深川営業所 お客さまセンター (0164)22-4111
富良野営業所 お客さまセンター (0167)23-4131

北見支店 お客さまセンター　(0157)26-1111
紋別営業所 お客さまセンター (0158)24-3121
遠軽営業所 お客さまセンター (0158)42-2185
網走営業所 お客さまセンター (0152)43-4106

札幌支店 お客さまセンター　(011)251-1111
札幌北支社 お客さまセンター (011)772-7101
札幌西支社 お客さまセンター (011)662-2171
札幌東支社 お客さまセンター (011)892-8111
札幌南支社 お客さまセンター (011)572-1111
千歳支社 お客さまセンター　(0123)23-5101

岩見沢支店 お客さまセンター (0126)22-0601
滝川営業所 お客さまセンター (0125)24-7166
栗山営業所 お客さまセンター (0123)72-1071

小樽支店 お客さまセンター　(0134)23-1111
余市営業所 お客さまセンター (0135)23-2161
岩内営業所 お客さまセンター (0135)62-1512
倶知安営業所 お客さまセンター (0136)22-0150

釧路支店 お客さまセンター　(0154)23-1111
中標津営業所 お客さまセンター (0153)72-2010
弟子屈営業所 お客さまセンター (015)482-2019
根室営業所 お客さまセンター (0153)24-3181

帯広支店 お客さまセンター　(0155)24-5161

室蘭支店 お客さまセンター　(0143)47-1111

苫小牧支店 お客さまセンター (0144)32-5321
富川営業所 お客さまセンター (01456)2-0019
静内営業所 お客さまセンター (0146)42-0009
浦河営業所 お客さまセンター (0146)22-2108

函館支店 お客さまセンター　(0138)22-4111
八雲営業所 お客さまセンター (0137)62-2531
江差営業所 お客さまセンター (0139)52-0085
福島営業所 お客さまセンター (0139)47-2021

受付時間　平日／9:00～17:00（土・日・祝日を除く）
番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願いします。

※電話がつながりにくい場合がありますので、あらかじめご了承願います。
※営業所への電話によるお問い合わせは、自動転送により、管轄する支店で承る場合がございます。

■ほくでんホームページ　www.hepco.co.jp　ほくでん　検索

2013年11月

節電アクション

ご家庭における節電のお願い

平素より弊社事業にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

この冬におきましては、泊発電所の再稼働が見込めない場合を想定し、さまざまな電力需給対策に最大限取り組むことにより、最低限必要な供給予備率は確保できる見通しです。

しかしながら、発電設備の計画外停止リスクや、冬の北海道における万が一の電力需給のひっ迫は、生命、安全を脅かす可能性があることを踏まえ、多重的な対策を講じてまいります。

お客さまには大変なご不便とご迷惑をおかけいたしますが、引き続き節電にご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

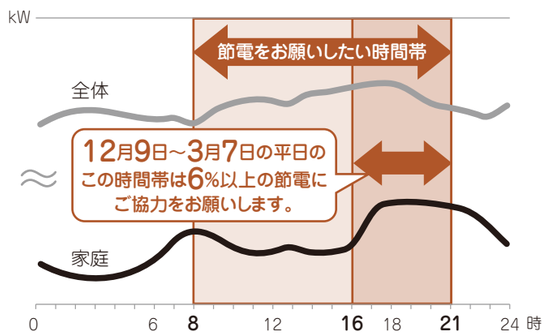
ご家庭で節電をお願いしたい期間・時間帯・量

12月9日（月）～3月7日（金）の平日※1
16時～21時において
6%以上※2の節電にご協力をお願いします。

※1　12月30日（月）～1月3日（金）を除く
※2　2010年度の実績との比較

●上記の期間・時間帯を除く12月2日（月）～3月31日（月）の平日8時～21時においても、数値目標は設けませんが、無理のない節電にご協力をお願いします。
●冬季の北海道は夜間も電力需要が高い水準にあるため、上記以外の時間帯についても、可能な範囲での節電をお願いします。

冬の北海道における平日のご家庭での電気の使われ方
（イメージ）

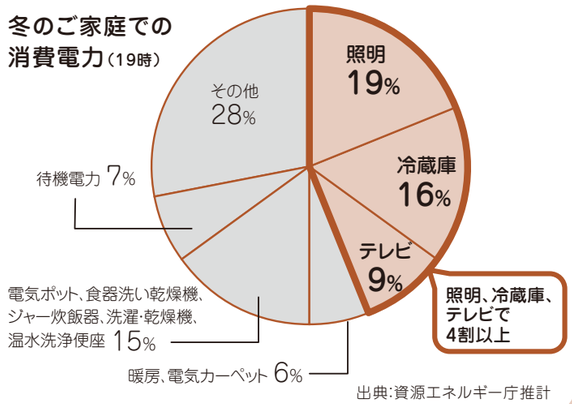


出典：資源エネルギー庁推計

節電にご協力いただきたい電気製品

照明、冷蔵庫、テレビ等を中心に、普段お使いの電気製品について節電のご協力をお願いします。また、外出の際には待機電力等の削減もお願いします。
ご家庭では冬の19時に平均で約1,000Wの電力を消費しており、**照明、冷蔵庫、テレビで4割以上**を占めています。外出中の場合でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力等により、平均で約250Wの電力を消費しています。

冬のご家庭での消費電力（19時）



出典：資源エネルギー庁推計

ほくでん

ご家庭での具体的な節電方法

一般的な電気製品の節電ポイント

普段お使いの電気製品の使い方を工夫していただき、節電にご協力をお願いします。

照明

○不要な照明をできるだけ消しましょう。

冷蔵庫

○冷蔵庫の設定を控え（「弱」など）にしましょう。
※食品の傷みにご注意ください。
○扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込み過ぎないようにしましょう。
○壁との間に適切な間隔を空けて設置しましょう。

テレビ

○画面の輝度を下げましょう。
○必要なとき以外は消しましょう。

電気ポット

○お湯はコンロで沸かし、ポットの電源は切りましょう。

パソコン

○省電力設定を活用しましょう。

温水洗浄便座

○便座保温・温水の設定温度を下げ、不使用時はふたを閉めましょう。

掃除機

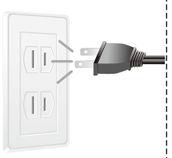
○紙パック式はこまめにパックを交換しましょう。
○掃除機のかわりにモップやほうきを使いましょう。

洗濯機

○洗濯機の容量の8割を目安に、まとめ洗いをしましょう。

待機電力

○リモコンではなく、本体の主電源を切りましょう。
○長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜きましょう。



省エネ型機器への買い替えも効果的

電気機器を買い替える時には、省エネラベルの星の数を参考にして、省エネ型機器への買い替えも効果的です。

〈統一省エネラベル〉

暖房等の節電ポイント

冬の北海道には無くてはならない暖房ですが、適正な温度設定等による節電へのご協力をお願いします。

暖房機器全般

○室内の温度設定を20℃にしましょう。なお、寒さを感じた場合は少し厚着をしましょう。
○外出時、就寝時、人がいない部屋の暖房は無理のない範囲で控えるようにしましょう。

電気ファンヒーター

○フィルターをこまめに掃除しましょう。
○こまめに温度設定をしましょう。

ポータブル電気ヒーター／電気パネルヒーター

○こまめに温度設定をしましょう。

電気カーペット

○人のいる部分だけをあたためるようにしましょう。
○温度設定を低めにしましょう。
○床に熱が逃げないよう、断熱マットを敷くと効果的です。

節電時にご注意いただきたいこと

●暖房の控え過ぎにご注意いただき、体調管理には十分気をつけてください。
●暖房機器をご使用の際は、「ご使用上の注意」等をご確認いただき、安全にお使いください。
●ポータブル石油ストーブ等をご使用される場合には、特に以下のことを注意しましょう。
・定期的に窓を開ける等して必ず換気をしてください。新鮮な空気が不足すると、一酸化炭素が発生します。
・洗濯物や布団等はストーブの近くに置かないようにしましょう。
●融雪用電力（ルーフヒーティング、ロードヒーティングなど）の節電にご協力いただく場合は、落雪事故、水道および路面凍結による事故にご注意ください。
●外気温度が低いときや建物の断熱性能が低い場合、室温の低下による結露の発生にご注意ください。
●それぞれのご事情に応じ、生活に支障のない範囲でご協力をお願いします。

ご家庭での節電効果のご確認

節電チェックシート

節電に取り組んでいただく際の目安となるよう、節電効果を記載しております。
ご家庭における使用状況にあわせてご活用ください。

※節電効果の記載値は、一般家庭の平均消費電力（19時:約1,000W）に対する削減率の目安です。（資源エネルギー庁推計）

お願いしたい節電方法		節電効果（削減率）	チェック
①照明	不要な照明をできるだけ消しましょう。	6%	□
②テレビ	省エネルギーモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消しましょう。 ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合	3%	□
③冷蔵庫	冷蔵庫の設定を「弱」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込み過ぎないようにしましょう。 ※食品の傷みにご注意ください。	2%	□
④待機電力	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切りましょう。 長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜きましょう。	2%	□
⑤温水洗浄便座	便座保温・温水の設定温度を下げ、不使用時はふたを閉めましょう。	1%	□

合計で6%以上の節電となるようご協力をお願いします。　合計　□

Web料金お知らせサービス

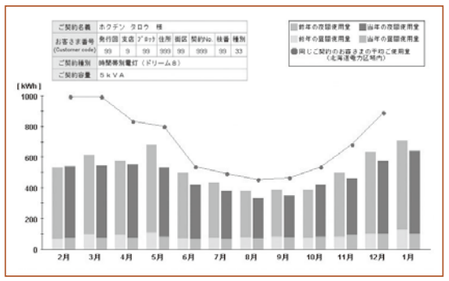
パソコンからは、過去24ヶ月のご使用量・推移がひと目でわかるので、節電効果を把握できます。ご登録は無料ですので、ぜひこの機会に、お申し込みください。

●同じ契約のご家庭の**平均ご使用量との比較**ができます。

●前月や前年同月等、**過去のご使用量との比較**ができます。

※ご加入後は、「電気ご使用量のお知らせ」はお届けしません。

■過去24ヶ月の使用実績画面イメージ（パソコン版）



ご利用登録は簡単です
登録無料

お手元に「電気ご使用量のお知らせ」や「電気料金請求書」などをご用意ください。

パソコンから　ほくでん Web料金　検索

携帯電話から

電気ご使用量のお知らせ

毎月配布している「電気ご使用量のお知らせ」には、前年同月のご使用量が記載されていますので、節電効果の参考としてご確認いただけます。

■従量電灯や低圧電力をご契約のお客さま

当月のご使用量

前年同月のご使用量